

授業科目区分	科目名 [英文名]	単位	
共通専門科目	レクリエーション論 [Recreation]	2	
授業形態	担当教員名	実務家教員	ナンバリング
講義 アクティブ・ラーニング	福島 邦男		NS-S2020

#### この授業に関する資格

ピアヘルパー、レクリエーション・インストラクター、初級パラスポーツ指導員、公認スポーツ栄養士、スポーツ指導者等共通科目、アシスタントマネジャー、アスレティックトレーナー、子ども身体運動発達指導士、中高老年期運動指導士

#### 学位授与方針(ディプロマポリシー)との関連

○	豊かな人間性(広い視野、深い思考力)		健康づくりの実践的指導能力
	食、栄養科学の専門的知識	○	健康生活の知識と技術の修得
	健康管理の指導技術の修得	○	実社会に役立つ能力
	運動、スポーツ科学の専門的知識	○	社会に貢献できる実践力

#### キーワード

レクリエーション、レジャー、労働と遊び、遊びと人間文化

#### 授業の目的と概要

レクリエーションが必要とされてきた歴史・社会的な背景について学び、生活における生きがいづくりとしてのレク支援活動を理解する。ホスピタリティトレーニングやアイスブレイキングについての知識を深め、障がい形態別のレクについても学ぶことで、豊かな人間性を備えたレクリエーション支援者となることを目指す。

#### 学習の到達目標

レクリエーションの基本原理と意義を応用したレクリエーション支援ができる。コミュニケーションをとりながらグループワークに臨み、レクリエーションの理論を活かして、楽しさの時間を創造できる。

回	テーマ	授業内容	AL
1	授業概要 用語の定義	用語としての「労働 遊び 現実世界 非現実世界」	
2	労働と遊び	レジャー、レクリエーションの位置付け	
3	レクリエーション・余暇の現状と課題	余暇と自由時間、レクリエーションゲームについて	○
4	レクリエーション運動の歴史と概念 砂場づくり運動	遊び場づくり運動 厚生レクリエーションの変遷と制度	
5	レクリエーションの変遷と制度	第二次世界大戦後から現代	
6	楽しさを通じた心の元気づくり	アイスブレイキングについて	○
7	地域のきずな	コミュニケーションと関係づくりについて	

8	レクリエーション支援	ホスピタリティレーニング コミュニケーションワーク	
9	集団に対するレクリエーション支援	グループワーク 仲間づくり レクリエーション支援者の役割	○
10	障がい者のレクリエーション	ノーマライゼーションと身体障がいの種類について	
11	みんなのスポーツ、身体障がいの理解	デフスポーツ、ユニバーサルスポーツと身体障がいの種類について	
12	福祉レクリエーション1	身近なレクリエーションと知的障がいについて	
13	福祉レクリエーション2	身近なレクリエーションと精神障がいについて	
14	レクリエーション活動中の事故と責任	リスクマネジメント ひやりとした体験の話し合い	○
15	これからのレクリエーション	講義で取り上げたレクリエーション理論のまとめ	

#### 教科書・参考図書

参考図書: 楽しさをとおした心の元気づくり (財)日本レクリエーション協会、レクリエーション支援の基礎 (財)日本レクリエーション協会  
 その他: 必要に応じて資料を配付する。

#### 準備学習・事後学習

準備学習(週2時間): 授業のキーワードとテーマに関する情報(新聞、雑誌、インターネット等)を入手し、毎回のミニレポート(提出課題)に生かせるように目を通しておく。  
 事後学習(週2時間): 毎時間の資料は保管しておき、事後学習で活用できるようにしておく。

#### 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法

フィードバックとして、ミニレポートへの返信等で前回授業の内容や質問への解説を行う。オフィスアワーでも適宜対応する。

#### 成績評価の方法・基準

毎回のミニレポート70% 課題・提出物30%

#### 関連科目

#### 受講上の注意